

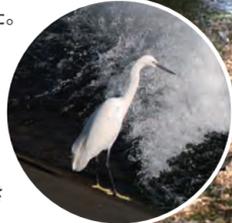
ずっと遺したい水と緑の宝物

落合川と南沢湧水群

東久留米市には落合川や黒目川が東西に流れ、豊かな湧き水が見られます。花や水鳥を眺めながら市民が川沿いを散歩したり、夏には子どもたちが落合川いこいの水辺に入って遊んだり。都心から比較的近いエリアでありながら、そうした風景もここでは当たり前ものとなっています。

平成20年6月、当市の「落合川と南沢湧水群」が、環境省の「平成の名水百選」に都内で唯一選定されました。これにより、「水のまち東久留米」の名前が全国にアピールされることとなりました。

この選定は、地域住民や関係者、関係団体の皆さんによる水環境保全への地道な取り組みが結実したものといえます。今後も多くの方のご理解とご協力を得ながら、かけがえのない川と湧水を守っていきたく願っています。



平成の名水百選とは

環境省では、水環境保全の一層の推進を目的に、昭和60年選定の「名水百選」に加え、平成20年6月、新たな名水として「平成の名水百選」を選定。地域の生活に溶け込んでいる清澄な水や水環境の中で、特に地域住民等による主体的かつ持続的な水環境の保全が行われている場所が対象となりました。

東久留米・水の回廊

清流のきらめき  
瑞々しい緑の輝き  
水辺に集う生き物たちの営み  
水と戯れる子どもたちの笑顔  
水はすべての生命の源  
ここには守り続けたい、大切な「水の回廊」がある

平成の名水百選

# 落合川と南沢湧水群

湧水散歩ガイドマップ

水と緑を感じよう！湧水お散歩スポット

落合川清流の周辺には、ふと足を止めたくなるスポットがたくさんあります。心地よい散歩を楽しみながら、豊かな自然や歴史にふれてみませんか。

南沢湧水群 Map C-3

東久留米市は、武蔵野台地でも湧水の多いところとして知られてきました。市の中央に位置する落合川流域の南沢地域では、一日に約1万トン、下流部の下谷橋付近では、一日に約5万トンの流量になります。周囲には豊かな林が広がり、水辺と一体となってさまざまな生物を育てています。その清らかな流れは、水と緑とふれあいのまち・東久留米のシンボルともいえるもので、多くの市民によってその環境が守られています。一帯はこれまで、東京都の「南沢緑地保全地域」に指定され、また「東京の名湧水57選」に選定されていました。そして平成20年、新たに「落合川と南沢湧水群」として「平成の名水百選」が加わりました。



竹林公園 Map E-3

昭和49年に、それまでの竹林を公園としたもので、園内には崖線沿いに約2000本の孟宗竹がうっそうと生い茂っています。遊歩道が整備され手入れの行き届いた園内は、静寂そのもの。風にそよぐ竹の葉の音と鳥の声だけが、かすかに耳をくすぐります。公園の一角からは湧水（東京の名湧水57選）も流れ、昭和57年10月には「新東京百景」にも選ばれています。



自由学園 Map E-3

学校法人自由学園は、大正10年に、ジャーナリスト羽仁吉一・もと子夫妻が創立し、昭和9年に東久留米の地に移転してきました。学園内にある昭和初期の建物5件は、「東京都選定歴史的建造物」に選定されています。世界的建築家フランク・ロイド・ライトに師事した名建築家・遠藤新による設計で、今なお現役の学校施設として使用されています。自由学園は「桜を見る会」などの折に、建物・キャンパスを公開しています。学園ホームページや学園正門横の掲示板でご案内しますので、ご確認ください。



南沢水辺公園 Map C-2

南沢3丁目の南沢氷川神社近くの落合川沿いにあり、平成19年に開園しました。開園時にはすべてを完成させず、開園後、市民の手によって整備が進められている市民参加型の公園であるということが特徴です。ボランティア団体が植えた花々や木々が根つき、年を追うごとに周囲の自然環境と一体となった心地よい空間がつけられています。



野草園 Map H-1

落合川と黒目川の合流点にあり、身近な場所で自然と接し、自然愛護の心を育てるために開園しました。園内に植えられた200種類を超える野草には、それぞれに品種名が表示されているので、野草に詳しくない方でも楽しむことができます。春には市民参加による野草園づくりの作業が行われるほか、春秋には観察会も開かれています。



南沢氷川神社 Map C-2

南沢緑地保全地域にあり、前後を川に囲まれた高台に位置しています。創建時期は定かではありませんが、古くから湧水の守護神として祀られてきました。4年に一度、江戸時代から伝わる郷土芸能、南沢獅子舞（市指定無形民俗文化財）が境内で奉納されるほか、加藤清正虎退治絵馬、承応三年棟札（ともに市指定有形文化財）が伝わっています。



多聞寺 Map D-2

鎌倉時代の創建と伝えられ、正式な名称は宝塔山吉祥院多聞寺。嘉永6（1853）年の造営とされる山門（市指定有形文化財）は総けやき造りの四脚門で、控え柱上部の獅子鼻（獅子の形をした飾り）などにこの地方の建築様式の特徴がよく表れています。村のけやきを落合川に流して江戸まで運び、彫刻師に彫らせたという伝承が残されています。



水辺の生き物たち

清流に棲む野鳥や魚たちを探してみよう



市の木 イチョウ

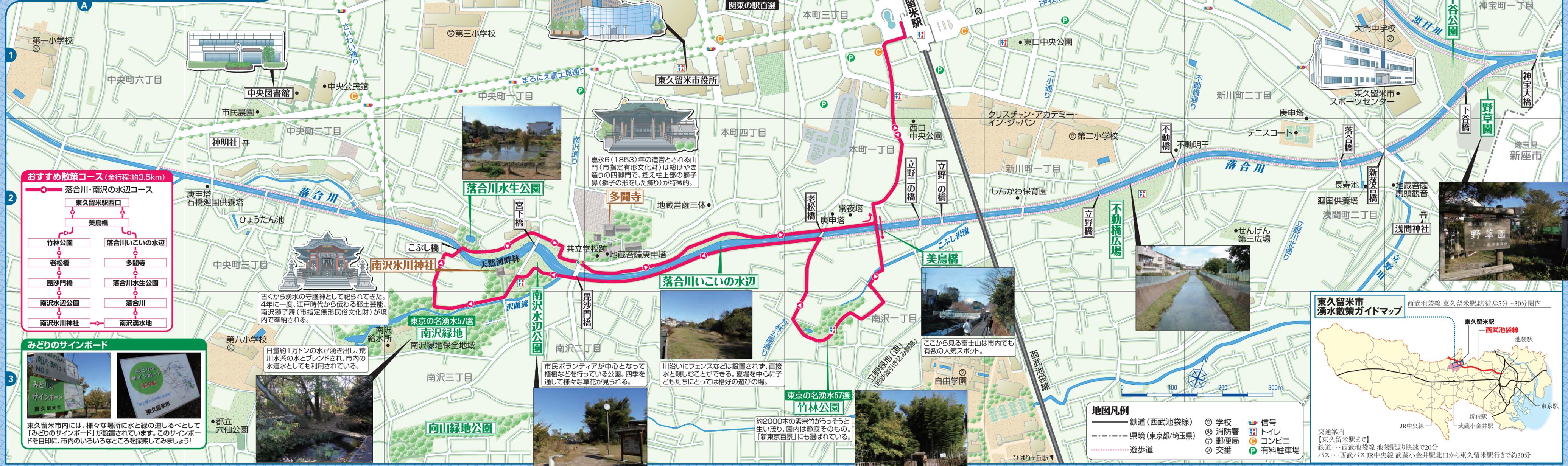


市の花 ツツジ



市の鳥 オナガ

# 東久留米市 湧水散策ガイドマップ



### おすすめ散策コース (全行程:約3.5km)

1 落合川・南沢の水辺コース

- 東久留米駅西口
- 美鳥橋
- 竹林公園
- 老松橋
- 毘沙門橋
- 南沢水辺公園
- 南沢氷川神社
- 落合川いこいの水辺
- 多聞寺
- 落合川水生公園
- 落合川
- 南沢湧水地

### みどりのサインボード

東久留米市内には、様々な場所に水と緑の道しるべとして「みどりのサインボード」が設置されています。このサインボードを目印に、市内のいろいろなところを探検してみましょう!

古くから湧水の守護神として祀られてきた。4年に一度、江戸時代から伝わる郷土芸能、南沢獅子舞(市指定無形民俗文化財)が境内で奉納される。

日量約1万トンの水が湧き出し、荒川水系の水とブレンドされ、市内の水道水としても利用されている。



嘉永6(1853)年の造営とされる山門(市指定有形文化財)は総げやき造りの四脚門で、控え柱上部の獅子鼻(獅子の形をした飾り)が特徴的。

市民ボランティアが中心となって植樹などを行っている公園。四季を通して様々な草花が見られる。



川沿いにフェンスなどは設置されず、直接水と親むことができる。夏場を中心に子どもたちにとっては格好の遊びの場。

約2000本の孟宗竹がうっそうと生い茂り、園内は静寂そのもの。「新東京百景」にも選ばれている。



ここから見る富士山は市内でも有数の人気スポット。



### 東久留米市 湧水散策ガイドマップ

西武池袋線 東久留米駅より徒歩5分～30分圏内

交通案内  
【東久留米駅まで】  
鉄道…西武池袋線 池袋駅より快速で20分  
バス…西武バス JR中央線 武蔵小金井駅北口から東久留米駅行きで約30分

### 地図凡例

- 鉄道 (西武池袋線)
- - - 県境 (東京都/埼玉県)
- ⊙ 学校
- ⊙ 消防署
- ⊙ 郵便局
- ⊙ 交番
- 📶 信号
- 🚻 トイレ
- 🏪 コンビニ
- 🅇 有料駐車場
- ⋯ 遊歩道



野草園